

## 肝炎に関する統計・疫学資料

全国のHBV及びHCVキャリア数の推計

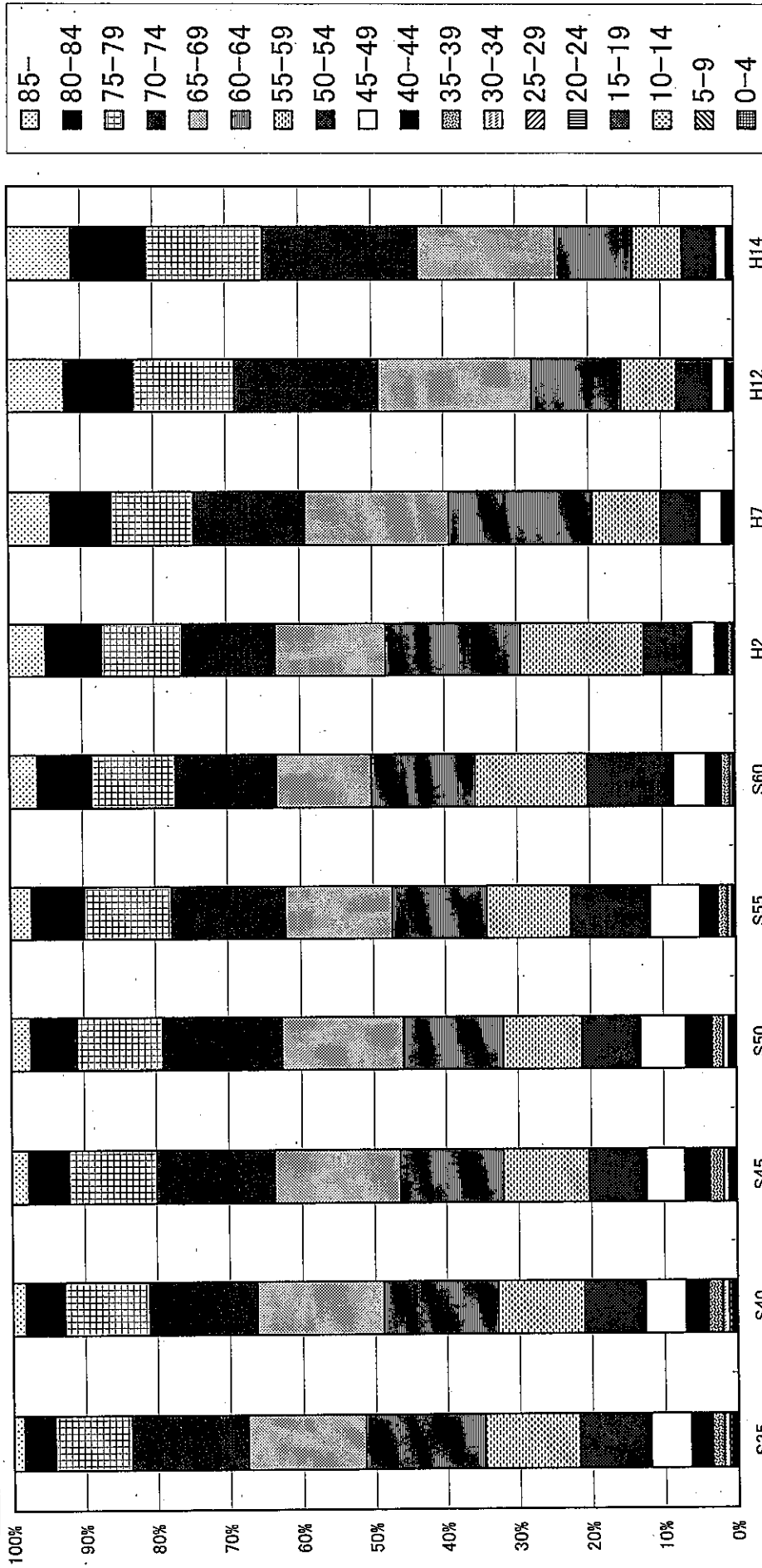
- ・ 日本赤十字血液センターにおける平成7（1995）年から平成12（2000）年の6年間の全供血者から、初回供血者約350万例のデータを抽出し、HBs抗原陽性率及びHCV抗体陽性率を算出し、HBVキャリア及びHCVキャリア数を推計。
- ・ HBVキャリア数（15～69歳）は、96.8万人であり、そのうちの約76%（71.4万人）が40歳以上。
- ・ HCVキャリア数（15～69歳）は、88.5万人であり、そのうちの約86%（75.9万人）が40歳以上。
- ・ ただし、献血者集団の中には、「輸血歴」のある人は含まれていないことから、上記数字は、実態より低く見積もられていると考えられる。

【出典】厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）

「C型肝炎の自然経過および介入による影響等の評価を含む疫学的研究」（主任研究者：吉澤浩司）

# 肝がんによる死亡者に占める年齢別（5歳階級）割合の推移

○ 70歳以上の年齢階級の割合が増加傾向（70歳以上で S35 : 32.3% → H14 : 56.5%、85歳以上で S35 : 1.5% → H14 : 8.7%）にある一方で、65歳未満の年齢階級の割合は減少傾向にある。



(参考) 肝がんによる死亡者数の推移

	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H14
死亡者数	8,818人	8,505人	9,516人	10,587人	14,510人	18,972人	24,233人	31,707人	33,981人	34,637人

※統計上は、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」  
(出典) 人口動態統計